

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所 てならい		公表日 令和7年4月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		パーテーションを使ったり、カーテンで仕切ったりしてスペースを作っています。	法令等に遵守したスペースを確保しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		人数に対して、適切に配置しています。	法令で必要とされる以上の職員数を配置しています。今後もこの体制を維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	8		フリー全体を見渡せるようになっています。バリアフリーにもなっています。	全てバリアフリーにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		常に、天窓を開けています。コロナの時と同じ様に消毒・換気をしています。	活動に合わせて空間を利用しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要に応じて、個室を使ったりできるようになっています。	環境は整備しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		各種会議を定期的実施し、業務改善に努めています。	今後も引き続き継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。	保護者様に当施設に対しての評価や希望を常に聞ける体制を作っていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼や終礼をおこない、意見や考えを聞いています。	ケース会議、個別の面談職員間での意見交換、情報共有ができる時間を増やしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		今後必要に応じて導入を検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修に参加しています。	今後も少しずつ研修の機会を増やし理解を深めていきたい。
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			支援プログラム作成、公表を行政の指示に合わせて法令に基づき実施している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		アセスメントをおこない、作成しています。	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の本人支援・家族支援・移行支援及び地域支援・地域連携のねらい、支援内容も踏まえ子供の支援に必要な項目と5領域を含め、モニタリング・アセスメントを行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員間の打ち合わせを行い、共通の認識を持つようにしています	お子さんに合わせて職員、保護者と情報共有を行い、成長に合わせて計画作成を行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		一人一人の計画に沿って対応しています。	計画内容を職員間で共有し、支援に活かしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			アセスメントの内容と成長に適しているか日々の様子から判断しながら、確認し共有している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		外部研修・内部研修をとし、基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」と5領域を踏まえ、保護者の要望も聞き、職員間で共有し毎回の支援内容に活かしている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		個別プログラム、集団プログラムを作成し、実施しています。	今後も引き続き行っていきます。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		月間の予定表を作成し、イベントやレクレーションが固定しないよう行っています。	今後も引き続き行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別活動と集団活動を行っています。	今後も引き続き行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		必ず職員間の打ち合わせを行い、利用者様ごとに担当者を決めています。	打ち合わせに参加できない職員は申し送りをして引継ぎをしっかりと行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		情報共有を行っています。緊急ではない場合次の日に報告をします。詳細を引継ぎしています。	今後も引き続き行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		一人一人必ずその日の記録を取り。改善につなげていきます。	今後も引き続き行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6か月に1度の評価個別支援計画の作成のほか、日々の会議で話し合いをしています。	定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	8		外部・内部研修をとし、基本活動を複数組み合わせ支援を行っています。	提供すべき支援の本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携に添える支援に取り組んでいきたいと思っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		本人による意思決定のための実行可能な支援を行っています。	選択肢を選べるような工夫をしていく。本人の意思をくみ取る、聞くことができるように支援をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、	8		事業所の責任者が対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教	8		保護者の方の了解を得たうえで、児童発達支援事業所と情報を共有させていただきます。	子供達の状況に応じてご家族と相談しながら医療機関との連携もとっていただければと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者様からの情報を聞きながら、学校との連携を図り、情報交換、連絡確認を行っていますがもっと深く連絡調整をしていきたいです。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて児童発達支援センターから助言をいただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	これまで該当者がいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		必要に応じて助言をいただいています。	研修等にも参加していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	障害のない子供との交流の場は、特に設けてませんが、公園等で自然とお友達になっています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		呼びかけがあれば参加したいと思います。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		事業所での活動の様子を連絡帳で伝えていきます。送迎時にもお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		研修等のお知らせはお配りしています。	ご家族からの相談は常に受けています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています。	質問や疑問があればあればいつでも応じています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		6か月に1度の評価個別支援計画の作成のほか、話し合いをしています。	相談できる体制は整えています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援内容の説明を行い同意を得ています。	説明をさせていただいて、要望があれば支援に取り入れていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談を受けたときは必要な助言や支援を行っています。	個別の相談を受け入れられるように体制を整えています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、	8		夏に1度開催。	軽い気持ちで参加できるようなお茶会を開いて情報共有や悩み等をお話してできるようにしていきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		担当責任者を設置し、迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより	7	1	行事予定を毎月お配りしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報に記載されている書類は、施錠したロッカーにて管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		声かけや、電話、メール、図やイラスト等で意思疎通を行っています。	視覚的な補助（図や写真、イラスト等）さらに障害に合わせた教材等を取り入れていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		今のところ予定はありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		関係者に周知し月に1回実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練等を行っています。	感染症・自然災害を策定し、訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		食事提供はありません。食物アレルギーについては、契約時・更新時に把握している。配慮のいる場合医師の指示書、保護者との確認にて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			安全計画を策定し、研修会議・点検・計画・見直し等をし、安全な空間で支援をしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			安全計画を策定し、研修会議・点検・計画・見直し等をし、安全な空間で支援をしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		独自のヒヤリハット事例集を作成し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		責任者や職員が外部研修に参加し、その教材をもとに内部研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		現在、身体拘束を行わなければならないケースはありません。		